

市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO. 200

2018年3月7日

日本共産党
新潟市議会議員団

電話 025-226-3450

FAX 025-223-7748

2月議会

大雪対策の強化、寒波時の断水 対応に万全を期すよう求める

— 日本共産党市議団 平あや子議員が一般質問 —



平あや子議員

日本共産党の平あや子議員は3月2日、①北朝鮮問題の平和的解決を②大雪対応から見た本市の課題③寒波対応から見た水道事業の課題—の3項目について一般質問を行いました。

「抑止力」論では北朝鮮の軍事挑発を止められない

平議員は、アメリカが合同軍事演習を行えば北朝鮮がミサイル発射で応ずるという一連の経過は、より大きな軍事力が「敵」を抑えるという「抑止力」論では、北朝鮮の軍事挑発を止めることができないことを示していると指摘しました。

国際社会が一致結束して、経済制裁強化と一体に「対話による平和的解決」をはかることが、唯一の解決策と考えるがどうかと、市長の見解をたどしました。

核兵器禁止条約への参加を政府に求めるべき

平議員は、核兵器禁止条約が国際的な規範となったことは、北朝鮮には、最も大きな政治的・道義的な「圧力」になると指摘。市民の命と安全を守るため、また拉致被害者の一刻も早い救出のため、新潟市として、日本政府に対話で危機を打開するよう求めるとともに、核兵器禁止条約にただちに参加するよう求めるべきだと、市長に迫りました。



大雪への対応強化を求める

1月11日から14日にかけて市内に降った大雪によって多くの市民の日常生活に支障が出ました。平議員は、除雪が困難な高齢者

一人世帯など、市民向けの相談窓口を各区役所に早期に開設するため、市がイニシアチブを発揮するよう求めました。

また、生活保護世帯には、3万円

度があり、周知徹底することを求めました。

平議員は、市は事務事業点検で、凍結防止剤の散布基準を2℃以下から1℃以下に緩和し、予算を2・4億円も削減しようとしているが、寒波到来による大雪の可能性があるなかで、到底市民の理解は得られないと指摘しました。

緊急時の浄水場のバックアップ体制に万全を期すこと

1月24日からの大寒波により、市内では水道管の凍結・破裂、漏水などが相次ぎ、西蒲区巻浄水場では一部地域で断水が実施されました。

平議員は、市は緊急時の巻浄水場のバックアップ体制として、南区戸頭浄水場との配水連絡管整備を進めているが、戸頭浄水場によるバックアップが可能となるのは2020年度になってからであり、それまでの間、今回のような寒波襲来時にどのような対策を考えているのかとたどしました。

市は断水を解消するため、西区明田から西蒲区桑山まで仮設連絡管を敷設したが、連絡管の敷設と配水区域の切り替えに丸一日かかっており、今回のような寒波が来れば、

西蒲区では再び断水する危険性があると迫りました。

市水道局長は、「仮設連絡管570mのうち、地上に露出している約270mは撤去するが、迅速に再設置できるよう資材を確保する。おおむね半日で設置や配水区域の切り替えが可能となるので、緊急時にも対応できる」と答弁しました。

危機事象対応マニュアルに沿った対応をとるべき

今回の寒波では、西区青山浄水場もピンチとなりました。巻浄水場と青山浄水場の配水量増に伴う配水池水位の低下は、広域断水につながる危険があり、レベルレッドの危機事象となりました。

水道局の危機事象対応マニュアルでは、レベルレッドは「非常事態対応態勢」で対応することになっており、水道局対策本部のほかに、現地対策部と区役所事故対策本部を設置し、それぞれに情報共有・伝達のための職員を派遣することになっています。しかし、実際には現地対策部も区役所対策本部も設置されず、職員も派遣されませんでした。

平議員は、今回のような非常事態においては、危機事象対応マニュアルに沿った対応をとるべきではなかったかと迫るとともに、緊急時に対応できる水道局の人員体制の確保を強く求めました。

